

追跡調査 1 (2002<平成14>年7月…熱硬化9年目、光硬化6年目)

FRP内面補強工法(熱硬化)



TV調査



カッターではがし中
浸入水Aランクが出てきた



カッターではがした後

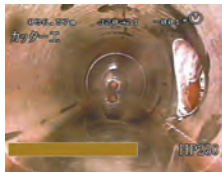
FRP内面補強工法(光硬化)



TV調査



カッターではがし中



カッターではがし後
取付管口部分は取れなかった

調査結果:

- ①TV調査…はくり、はがれがない
- ②施工物をカッターではがした時、浸入水Aランクを9年間保持していた

はがした施工物にJIS K 7171曲げ試験を行ったが、曲げ弾性率については、通常試験値と同じであり、6年目、9年目でも劣化進行はしていなかった。

以上の結果により、6年目(光硬化)、9年目(熱硬化)でも機械的物性は保持しており

●両端がある

●管きょに直接ライニング材を付着させている

という特長はあるが、10年間以上の耐用年数が保持できるといえます。

年 数	種 類	曲げ弾性率	
通常試験	光 硬 化	8,840N/mm ²	FRP内面補修工法 規格値(短期保証値) 曲げ弾性率
	熱 硬 化	9,320N/mm ²	
6 年 目	光 硬 化	8,550N/mm ²	5,900N/mm ²
9 年 目	熱 硬 化	9,420N/mm ²	